

第3回 働く人も企業もいきいき 食品産業の働き方改革検討会

高松青果株式会社 ヒアリング資料

平成30年 2月 21日

高松青果株式会社 齊藤良紀

高松青果株式会社 概要

所在地 香川県高松市瀬戸内町**40-12**

設立 昭和**41(1966)**年**10**月

昭和**42**年**3**月、高松市中央卸売市場開場と同時に営業開始

資本金 **5,000**万円

扱い高 **117**億円（平成**29**年**3**月期）

代表者 齊藤良紀

役職員数 **52**名　うち女性**10**名

関連会社 高松丸果商事

高松市中央卸売市場

2018 / 平成30年

業務状況、特徴

勤務時間

営業部門 5:30～14:00

管理部門 6:30～15:00

休日休暇

年間休日110日、週休2日制

社員平均年齢

39.8歳（平成29年4月）

1 JANUARY 睦月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
2 FEBRUARY 如月				1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28			
3 MARCH 弥生				1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
4 APRIL 卯月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					
5 MAY 辰月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
6 JUNE 巳月					1	2	
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
7 JULY 未月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
8 AUGUST 申月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
9 SEPTEMBER 酉月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
10 OCTOBER 戌月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
11 NOVEMBER 亥月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
12 DECEMBER 子月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29

働き方改革に対する取り組み 1

連続有給休暇取得

現状 3営業日（≒5連続休暇）

目標 5営業日（≒8連続休暇）

プロジェクト名：55ホリデー

2018年より執行役員を中心として取り組み開始。
会社設立55周年（2022年）、記念海外旅行実施を目標に、その前年、2021年よりの取得を目指し、業務の見える化、平準化に取り組み中。

働き方改革に対する取り組み 2

在宅勤務

業務上、**18時から21時ごろに30分から2時間**、電話連絡、メールでのデータやり取りの業務がある。以前は全時間をみなし残業（営業手当として支給）としていた。

現状

特に恒常的にこの時間帯に残業がある者について定刻より**1時間早く一旦終業**させ、夕方に在宅勤務で対応することとした。

働き方改革に対する取り組み 2 - 2

在宅勤務

当面の目標

業務の見える化、平準化を進める。「A君じゃなければ」から「A君グループで対応する」ことにより、属人性を排し、かつ労働生産性を向上させる。

将来の目標（現時点においては「夢」）
AI導入により、「システムで解決する」

働き方改革に対する取り組み 3

時間外労働（日直当番）軽減
以前

毎営業日**14時**から**17時**までの間、**3時間**の日直当番が月に数回、又、休日の日直当番（**8時**から**17時**）が月に**1回**程度あった。

現状

12:00～20:00勤務のグループを作成。土曜を除く平日日直をなくした。また、休日にも**8:00～12:00**の午前中**4時間**の日直当番となった。

働き方改革に対する取り組み 3 - 2

問題発見

「残業手当も生活費の一部であり、もともとそれほど多くない残業が減るのは困る」

「自分の時間はそれほど必要でない、ブラブラして無駄金を使ってしまうよりは残業、日直が増える方がありがたい」という意見

対策

社員アンケートを取り、「もっと自分の時間が欲しい」、「できれば所得を増やしたい」双方の希望にできるだけ沿うような形での「私らしい生活」を応援する。

働き方改革に対する取り組み 3 - 3

結果

	積極的に希望	指名されれば受諾	出来れば避けたい	
休前日 14:00～17:00	4	5	5	
休日 8:00～12:00	3	2	9	
休日 8:00～17:00	1	1	1 2	
平日 14:00～17:00	2	7	5	午後出勤者の有給取得時
夏季早朝 4:00～5:30	3	1	4	野菜部のみ

働き方改革に対する取り組み 今後

「時間当たり労働生産性」という考え方の浸透並びに労務、業務フローの見直しを図る。

青果物流通の現場においては未だにFAXが主流となっている。データ化に向け、業界全体、川上川下とも協力し解決したい。

全てにおいて「これが常識」を疑ってかかる。

ex. 「市場は朝が早い」のか？

ご清聴ありがとうございました